

男女共同参画セミナー

システム自然科学研究科

テーマ:「理系女性研究者のキャリアパス」

日時:2013年11月26日(火)15:00~

場所:滝子キャンパス2号館3階305教室

講師:富岡利恵氏(名古屋大学大学院生命農学研究所・助教)

森典華氏(名古屋大学・特任准教授)

芸術工学部 テーマ:「男女共同参画とワーク・ライフ・バランス」

日時:2013年11月26日(火)16:30~

場所:芸術工学棟M101教室

講師:横井寿史氏(横井寿史社会保険労務士事務所所長)

経済学部・看護学部

「子どもの目線からみた“親が働いている”ということ」

日時:2013年12月4日(水)16:30~18:00

場所:桜山キャンパス看護学部棟308講義室

講師:末吉央伯氏(京都市上京区 寺之内幼稚園園長)

女性研究者ランチミーティング

日時:12月20日(金)12:00~13:00

場所:桜山キャンパス西棟2階看護学部演習室A

対象:本学の女性研究者・女子学生

※昼食は各自持ち寄りをお願いします。(飲み物はこちらで準備します。)

さくらんぼ保育所新規入所児の募集について

平成26年度に新規入所を希望される方を対象にした募集を12月より行います。受付期間は12/2~1/17です。詳しくは総務課給与係までお問い合わせください。Tel:052-853-8007

2013年11月1日現在、本学の女性教員比率(専任)は21.0%です。

さくらんぼ保育所だより 収穫の秋!! みんなでいも掘りを



“街の中という限られた条件の中でも、こどもたちが自然に触れられるように”という思いから、さくらんぼ保育所では日常的に散歩に出かけることと共に、園庭に畑を作って野菜や果物を栽培することに取り組んでいます。夏にはきゅうりやおくら・ミニトマトをこどもたちが採って食べて、そして先日は、さつまいもを皆で掘りました。土の中から出てくるおいもや虫に喜んだり驚いたりしながら、たくさんのおさつまいもを収穫♪その日のおやつでふかしたり焼いたりして、その美味しさを楽しく味わったのでした♪

よりよいワーク・ライフ・バランスのために…

子育てサロン

我が子のことを話すとどうしても愚痴っぽくなってしまったり感じませんか?ところが、英語を使って話すと、あら不思議!子どものことをずっと明るく前向きに話せるのです。アメリカのペアレンティング講座で活用されている問題解決モデルと、子育て英単語集を使って、おしゃべりしませんか。英語に慣れていらない方もそうでない方も、男女問わずご参加ください!

子育てサロン「～英語で子育てを語ろう!～」

日時:2013年12月5日(木)12:00~13:00

場所:桜山キャンパス男女共同参画室にて

※昼食をご持参ください。

リラックスヨガ教室

呼吸を深め、寒さやストレスで固くなった身体をゆるめましょう。初心者の方も歓迎です。

リラックスヨガ教室「～今年1年をすっきりと終えるために～」

日時:12月11日(水)、19日(木)、24日(火)12:10~12:50

場所:桜山キャンパス西棟2階看護学部演習室Aにて

※運動しやすい服装で。ヨガマットがある方は持参。

お問合せは…ワーク・ライフ・バランス相談室 木下まで。
Mail: wlb-sodan@sec.nagoya-cu.ac.jp Tel: 052-853-8589

ハラスメント研修会

日時:2014年2月13日(木)16:15~17:15

場所:名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟3階大ホール

講師:北仲千里氏(広島大学ハラスメント相談室准教授)



NEWS LETTER

男女共同参画の推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室

ニュースレター Vol.9

発行 名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL:052-853-8577/FAX:052-853-8588/E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/ 2013年11月

AWARD

第1回名古屋市立大学男女共同参画奨励賞の受賞者が決定しました。



名古屋市立大学では、平成25年度より「名古屋市立大学男女共同参画奨励賞」を設置し、学内外で男女共同参画の実現に関連した活動や研究等を行っている本学の教職員や学生に対して、学長から表彰を行うこととなりました。平成25年7月から8月まで候補者を募集し、9月に開催された審査委員会によって以下の1名と2団体の受賞が決定しました。表彰式は、平成25年12月13日(金)に名古屋市立大学病院病棟・中央診療棟3階大ホールで開催される「名古屋市立大学男女共同参画総括シンポジウム」で行います。

12月の表彰式を前に、受賞者の方々と戸学学長との懇談会を行いました。戸学学長は、今回表彰された研究や活動を、学内のみならず、広く地域社会へも還元されることを期待すると述べられていました。

男女共同参画社会の実現をめざし、課題解決に取り組むNPOでの活動と実践研究の展開へ

伊藤静香さん
(非常勤講師・活動部門での受賞)

伊藤さんは16年間の専業主婦を経験後、女性の社会参画を支援するNPO活動への参加をきっかけに、NPO法人参画プラネットの常任理事として活動されてきました。伊藤さんの取り組みは、学内のみならず、男女共同参画の取り組みを広く地域社会へと還元するために、講演活動、地域連携、情報発信等を積極的に行っており、その取り組みには将来性があり、社会に対する波及効果も高いことから、今回受賞となりました。

<伊藤静香さんより>

このたびの受賞を大変うれしく思います。共に活動してきた仲間や、その活動を支えてくださったさまざまな方々とのご縁に感謝し、これからも学びと実践で、女性たちが一歩を踏み出すサポートを継続していく所存です。

女性に優しくするのだがやー働く女性とその家族に向き合う愛知企業のポートフォリオ

経済学部白桦ゼミ1期生
(学生・研究部門での受賞)
廣瀬実穂子さん、延時雄大さん、美馬里美さん

経済学部白桦ゼミ1期生の皆さんは、愛知県内で事業を行う企業の中で、女性の活用策やワーク・ライフ・バランスに関連した取り組みが進んでいる企業を調べ、独自の方法で評価しレポートを作成しました。このレポートは、日本経済新聞社が主催する学生コンテスト「日経ストックリーグ」に提出され、610篇中40位以内に入りました。本研究は学部生の取り組みとして高い水準にあり、今回受賞となりました。

<代表の廣瀬実穂子さんより>

私たちのレポートを奨励賞に選んでいただいたことをとても嬉しく思います。今後、さらに多くの方が男女共同参画に興味を持ち、女性が活躍できる場が広がることを期待します。

科学研究者にも多様性を一男女がともに活躍できる場を目指して

薬学部男女共同参画セミナー実行委員(学生・活動部門での受賞)
伊藤史織さん、安部賢央里さん、伊藤菜奈子さん、伊藤友香さん、
菊池千草さん、小玉菜央さん、坂崎美香さん、澤中美希さん、豊玉彰子さん、
内藤敏子さん、宮崎ちはるさん、森田友香さん

薬学部男女共同参画セミナー実行委員の皆さんは、薬学部の学生に対して「学生の研究職に対する意識調査」を実施し、その結果をふまえた上で、女子学生がなぜ研究職に就きにくいのか、実際に薬学の研究に従事している女性研究者はどのようなキャリアプランを立て実行してきたのかを聞く機会をもと、セミナー実行委員会を自主的に組織・運営し、男女共同参画セミナーを開催しました。現在も、薬学部内の女子学生・女性研究者のネットワークづくりを積極的に行っています。

<代表の伊藤史織さんより>

このたびの受賞、誠にありがとうございます。これから力を合わせて、男女ともに薬学生が研究の道に進む支援になるような活動を続けていきたいです。

多様性のあるゆたかな社会のさらなる実現に向けて
—大学における男女共同参画の将来と展望—

日時:平成25年12月13日(金) 13:30~17:00

場所:名古屋市立大学病院病棟・中央診療棟3階大ホール

後援:内閣府男女共同参画局、愛知県、名古屋市

平成23年に名古屋市立大学は文部科学省科学技術人材育成費補助金女性研究者研究活動支援事業に採択されましたが、平成25年度はその最終年度にあたります。また平成20年6月に男女共同参画室が設置されてから今年で6年になります。そこで今回、名古屋市立大学のこれまでの男女共同参画や女性研究者支援の取り組みを総括した上で、これから大学として男女共同参画の取り組みをどのように推進していくのかを考える場をもつこととなりました。皆様のご参加をお待ちいたしております。



参加には、事前申込みが必要です。参加される場合には、氏名、連絡先、託児希望の有無、懇親会参加の有無を明記し、メール、電話、ファックスにて下記までお申込みください。
TEL: 052-853-8577 FAX: 052-853-8588
E-mail: sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

PROGRAM プログラム

司会: 小川淳平(男女共同参画室室員・経済学研究科准教授)

13:30~13:35 開会挨拶

13:35~13:50 名古屋市立大学男女共同参画奨励賞表彰式
受賞者
①伊藤静香
②経済学部白桦ゼミ1期生
③薬学部男女共同参画セミナー実行委員

13:50~14:35 基調講演①
伊藤公雄先生(京都大学大学院文学研究科)
大学における男女共同参画=ジェンダー平等の動き—京都大学の場合—

14:35~15:20 基調講演②
田間泰子先生(大阪府立大学大学院人間社会学研究科)
皆で作ろう! 素敵な大学—大阪府立大学の実践例—

15:30~16:00 本学の男女共同参画・女性研究者支援事業の
取り組みの成果発表
男女共同参画室より 新ヶ江章友(プロジェクト推進員)
女性研究者支援室より 佐藤洋子(特任助教)

16:00~16:55 パネル・ディスカッション
コーディネーター 北川真理子
(男女共同参画室・女性研究者支援室室長、看護学部教授)

16:55~17:00 閉会挨拶

男女共同参画関連図書の展示を図書館で行いました。



毎年10月は愛知県男女共同参画月間です。今回、この男女共同参画月間にあわせて、総合情報センターでは、男女共同参画関連図書の展示を、山の畑分館と川澄分館で実施しました。期間は、平成25年10月7日から10月31日までの約1か月間。山の畑分館では、ジェンダー論、キャリアデザイン、ワーク・ライフ・バランス、女性と大学、女性研究者、男女共同参画社会に関する本を131冊、川澄分館では、性差・ジェンダー、キャリアデザイン、

ワーク・ライフ・バランス、名古屋市立大学の取り組みなどに関する本を66冊展示しました。

また男女共同参画関連の図書が展示されているコーナーには、名古屋市立大学での男女共同参画に関する取り組みを紹介したポスター、リーフレット、冊子、ニュースレターなどもあわせて展示していただきました。来年度以降も継続して、このような取り組みを行っていききたいと思います。

総合情報センターよりひとこと

学科を問わず多くの学生・院生・教職員の皆さまにご覧いただきました。卒論用にと、展示図書をまとめて貸出される4年生や、身近な本学女性研究者のインタビュー記事に興味を引かれた様子の大学院生の姿もありました。展示した図書以外にも、関連分野の資料を数多く所蔵しており、今後も新刊を随時受け入れします。どうぞご利用ください。

女子学生・
女性教員交流会

10月29日(火)16時30分から滝子キャンパスの教育研究会館で女子学生・女性教員交流会を開催しました。当日の参加者は8名と少人数でしたが、その分密度の濃い話を行うことができました。自分の研究の魅力を語る教員の姿を見て「イメージが変わった」と感想を寄せる学生もいるなど、参加した学生にとって有意義な会となったようです。

マインドマップ講習会を開催しました

平成25年8月30日(金)、名古屋大学男女共同参画室准教授の榎原千鶴先生をお招きし、マインドマップ講習会を開催しました。教職員、学生あわせて22名が出席しました。

雰囲気の良い音楽が流れる教室で、まずは、簡単な絵や単語を紙の中心に書き、そこから自由に広がるイメージを放射状に描く練習。普段、私たちは何か考えが浮かぶとリストにしてしまいがちです。しかし今回は、中心から伸びるいくつかの枝で考えを表現し、さらにカラーペンや落書きの絵もいれて…という、普段使わない感覚を要求される課題に取りくむことになりました。おやつやおしゃべりを挟みながら、参加された方たちは4時間という時間を忘れ、自分の中に湧き出る考えやイメージを思うままに描き続けました。最後の課題は「来週1週間の予定」。習ったばかりの画期的な思考整理法を日々の仕事に生かすための練習になりました。

講習会終了後、参加者からは、マインドマップをスケジュール管理や読書中の情報整理に利用したいという多数の意見のほかに、会議録、国家試験対策、担当患者の把握、子どもの学習の管理などに使いたいなど、具体的な問題意識に関連づけた利用法も挙げられました。また、自分の思考を絵にすることで楽になった、頭の整理をすることで自信につながる、描きながら今の自分を受け入れられる、大学で広めて組織活性化につなげたい、などの感想が寄せられ、マインドマップの多様な可能性を実感した講習会となりました。



男女共同参画セミナー

9月4日 医学部

パパとママ、子どもたちの笑顔が輝くために
共働き家庭の車座ミーティング



共働きの教職員がそれぞれの工夫を話し合うことで、明るく前向きに日々を過ごせるようにしたい。そんな思いから今年度の医学研究科の男女共同参画セミナーはお昼時間を挟んでの車座ミーティングとなりました。当日は医学研究科の教職員を中心に合計22名の参加者がありました。

セミナー冒頭には、話題提供者として浅井清文医学研究科長が、パートナーと分担された子育てや家事の経験を話してくださいました。独身時代は一切料理をしなかったという浅井先生が夕食づくりも分担するようになったと聞き、若手の女性たちは希望が見えたようです。

その後、参加者全員が2分間という短い時間で「共働き、子育てについて日頃思っていること」を書きだす作業に取りかかりました。出てきたトピックは「パートナーとの関係」「子どもの放課後ケア」「時間・体力の限界・余裕のなさ」「学校・園生活」など多岐にわたります。参加者たちは、自分が抱える悩みが他の人と共通していることを知り、また他の家庭での経験や意見を参考にしていたようです。

9月10日 薬学部

女性研究者が輝く時代へ。
語り合おう! 男女が等しく活躍する社会を!



ともに本学薬学部出身の林弥生先生(金城学院大学薬学部教授)、左手寛子氏(アスピオファーマ株式会社)を招き、本学薬学研究科教員の伊藤友香先生、大学院生の伊藤史織さん、学部生の小川喜寛さんをパネリストに討論形式のセミナーを実施しました。夏休み中の開催でしたが、4年生以上の学生を中心に54名が参加しました。

ディスカッションのテーマは「職場の違い」と「進路について」。パネリストの先生方には、大学と企業での働き方の違いや学生へのアドバイスを話していただきました。特に林先生からは人との巡り合いを大事にしてきたこと、左手先生からはチームで研究に取り組むことで出産・育児を乗り切ってきたこと、伊藤先生からは研究への情熱などが語られ、たいへん盛り上がりを見せました。セミナー終了後のアンケートでは、どのように現職につくことになったのか具体的に聞くことができたこと、出産や育児休業、復職の具体的な話を聞くことができたことなどが興味深かったとの意見が挙がっていました。